

みずから守るプログラム

# 大雨行動訓練(実働編) 実施手引き

運営者(町内会役員)向け



Ver.1.2



## 目 次

I. 大雨行動訓練（実働編）の実施方法 .....	1
II. 運営者企画会議で話し合うこと .....	1
III. プログラムの流れ.....	3
IV. 配布資料の作り方.....	5

# I. 大雨行動訓練(実働編)の実施方法

## 1. 前提条件(訓練を実施するために必要なこと)

### ○市町村職員の協力

このプログラムは、市町村役場から発令される「高齢者等避難」と「避難指示」による訓練を体験するため、市町村職員の協力がが必要です。

### ○手づくりハザードマップの作成

市町村が配布している洪水ハザードマップからは、地域で予想されている最大規模の被害を知ることができますが、その状況になってから避難をしようとしても手遅れです。そのため、早期避難を目的とした「手づくりハザードマップ」が必要です。

## 2. 実施までの手順



訓練の実施に向けて、運営手順などを話し合います。詳しくは裏面をご覧ください。

勉強会では、市町村職員から、避難指示の発令基準を学びます。また、教材を使って事例や防災情報について学習します。成果物としてマイ・タイムラインの作成を行うか選択可能です。その後、一旦帰宅して、手づくりハザードマップを使った行動を体験します。

# II. 運営者企画会議で話し合うこと



### 運営リーダーの選出

#### ○運営リーダーの選出

訓練のリーダーを選出します。運営リーダーは、市町村職員とともに避難所において、勉強会・反省会の司会や、「班長」「組長」などのグループ代表者への連絡、運営者企画会議の座長を務めます。

### 日程調整

#### ○日程調整

約3時間(半日)の訓練時間を確保できる日程で調整を行いましょ。

### 連絡網の確認

#### ○連絡網の確認

訓練では、市町村職員が擬似的に市町村の災害対策本部になりかわり、口頭で防災情報を発令します。

防災情報の発令を受けた運営リーダーは、地域の「班長」「組長」などの地域住民の代表者に連絡し、そこから訓練参加者全員に伝達するようにします。

運営リーダーから各組長へ、各組長から参加住民への、連絡網を確認しましょう。

## 訓練中の 集合場所 の確認

### ○一時避難所の設定・確認

手づくりハザードマップをもとに、それぞれの班・組に1つずつ、今回の訓練で集まる一時避難所を選定しましょう。

### ○避難経路の確認

今回の訓練で集まる一時避難所を設定したら、一時避難所から避難所までの避難路を、手づくりハザードマップを参考に設定しましょう。

手づくりハザードマップにおいて避難路の設定がなされていない場合、避難所への途中に浸水しやすい区域があったり、避難所が浸水しやすい場所にあるなど、実際の水害時に指定の避難所に避難することが難しい場合が考えられます。

これを機会に手づくりハザードマップを復習して、訓練の会場(避難所)を、実際に避難ができる施設とするなど、会場・一時避難所・避難路の設定を工夫しましょう。

## 参加者 への 呼びかけ

### ○参加者への呼びかけ

町内会の回覧などによって、なるべく多くの住民が参加することが望ましいでしょう。

高層マンションや高台にお住まいで、比較的水害の影響を受けない方についても、地域の水害特性を学ぶよい機会となりますので、できるだけ参加を促しましょう。



### 訓練実施のポイント！

#### ○市町村職員の協力が必須です！

必ず市町村職員の協力を得て実施しましょう。市町村職員には、避難指示の基準や、学習教材の説明といった、勉強会での講師役と、訓練時の擬似的な災害対策本部役の2点をお願いしてください。

#### ○勉強会と避難行動は同日に実施しましょう。

学んで、自ら体験することはワンセットです。勉強会と避難行動の実施日を分けると、どちらかに参加できない人が出てしまうため、十分な効果が得られなくなります。

#### ○用意するのは「参加者への配布資料」のみ！

実施する日時と会場が決まり、市町村の協力が得られれば、当日用意するのは参加者への配布資料のみです。この資料は主催者で作成してください。作成にあたっては、「V. 配布資料の作り方」を参考にしてください。

### Ⅲ. プログラムの流れ

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の連絡網の活用・強化</li> <li>・ 手づくりハザードマップとマイ・タイムラインを活用し実際に避難所まで歩く</li> <li>・ 情報の入手が困難な人の把握を行う</li> </ul>
成果物	・ マイ・タイムライン 【選択】

#### A. マイ・タイムラインを作成する場合

訓練項目(所要時間)	開始時間	内容
開会	0:00	あいさつ
勉強会 (10分) 	0:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材データ「みずから守る川の防災情報」の学習</li> <li>・ 見るべき水位計の確認</li> </ul>
マイ・タイムラインの作成 (35分)	0:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイ・タイムラインの書き方の確認</li> <li>・ マイ・タイムラインシートへの記入</li> </ul>
情報共有、意見交換 (15分) 	0:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の情報伝達手段について話し合う(★) (電話やメール、SNS など、地域の実情に合わせた情報伝達手段を考える)</li> <li>・ 手作りハザードマップを確認し、危険箇所や避難経路を確認する</li> <li>・ 情報の入手が困難な人への避難呼びかけの手段について話し合う</li> </ul>
避難行動 (60分)  市町村職員 避難指示を発令しました。 ----- 避難指示が発令されました。 避難所へ避難しましょう。 運営リーダー	1:05	<p>訓練シナリオの説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① グループごとに自宅周辺に集まる</li> <li>② 市が避難指示の発令をリーダーに連絡</li> <li>③ リーダーから避難指示を(★)の方法により伝達する</li> <li>④ マイ・タイムラインを確認しながら避難所へ移動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の入手が困難な人への声掛けを意識して実施する</li> <li>・ 危険箇所や避難経路の確認を行う</li> </ul> </li> </ol>
振り返り (15分)	2:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難開始から避難所までにかかる時間等を踏まえ、マイ・タイムラインの見直しを行う</li> <li>・ 避難準備のタイミングについて考える</li> <li>・ 多様な避難方法の確認を行う(分散避難)</li> </ul>
閉会	2:25	あいさつ

## B. マイ・タイムラインを作成しない場合

訓練項目(所要時間)	開始時間	内容
開会	0:00	あいさつ
勉強会 (40分) 	0:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の避難指示基準の学習</li> <li>・教材「過去の水害事例」の学習</li> <li>・教材「みずから守る川の防災情報」の学習</li> </ul>
情報共有、意見交換 (20分) 	0:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報伝達手段について話し合う(★) (電話やメール、SNSなど、地域の実情に合わせた情報伝達手段を考える)</li> <li>・手作りハザードマップを確認し、危険箇所や避難経路を確認する</li> <li>・情報の入手が困難な人への避難呼びかけの手段について話し合う</li> </ul>
避難行動 (60分) 	1:05	<p>訓練シナリオの説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① グループごとに自宅周辺に集まる</li> <li>② 市が避難指示の発令をリーダーに連絡</li> <li>③ リーダーから避難指示を(★)の方法により伝達する</li> <li>④ 避難所へ移動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の入手が困難な人への声掛けを意識して実施する</li> <li>・危険箇所や避難経路の確認を行う</li> </ul> </li> </ol>
振り返り (15分)	2:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難開始から避難所までにかかる時間等を踏まえ、避難準備のタイミングについて考える</li> <li>・多様な避難方法の確認を行う(分散避難)</li> </ul>
閉会	2:25	あいさつ

## IV. 配布資料の作り方

### 〇〇市〇〇地区 大雨行動訓練 実施要項

#### ■日時

〇〇年〇月〇日 9時～12時

#### ■場所

〇〇公民館(〇〇地区避難所)

#### ■関係者

主催： 〇〇市〇〇地区町内会、〇〇市

後援： 愛知県建設部河川課

#### ■スケジュール (マイ・タイムライン作成の場合)

##### <訓練前の準備>

9:00	あいさつ、自己紹介	関係者全員
9:10	マイ・タイムラインの作成	訓練参加者
9:55	情報共有、意見交換会 (★)	訓練参加者

訓練を実施する日時・場所・関係者をお知らせします。

訓練は、大まかに勉強会と行動訓練に分かれますので、スケジュールでも分けるとよいでしょう。時間割をお知らせします。

##### <訓練の実施>

10:10	大雨行動訓練開始(各自、自宅周辺に集まる)
10:20	大雨が降り一部浸水が始まる 市が避難指示の発令をリーダーに連絡 リーダーから避難指示を(★)で話し合った方法により伝達する
10:30	マイ・タイムラインを確認しながら避難所へ移動
11:10	〇〇公民館へ避難完了
11:10	振り返り
11:25	閉会

行動訓練は、勉強会を終えて一旦帰宅するところから始まります。手づくりハザードマップの一時避難所や、避難路を確認するためなので、必ず一旦自宅周辺に移動して、自宅周辺からの経路を見て歩きましょう。

ここでは、「いつ」「誰から」「誰に」何の連絡(電話)があって、「いつ」「誰が」「どこに」移動するのかを、分かりやすく記載しましょう。

作成: 令和7年3月

発行: 愛知県建設部河川課

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

052-961-2111(代)

kasen@pref.aichi.lg.jp